

平成22年4月28日  
原子力安全対策課  
(22-15)  
<13時記者発表>

**大飯発電所3号機の原子炉停止について**  
(大飯発電所1号機の燃料漏えいの原因対策を踏まえた燃料取替えに伴う停止)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3号機（加圧水型軽水炉、定格電気出力118万kW）は、平成22年2月19日に第14回定期検査を終了し定格熱出力一定運転中であるが、燃料取替えのため、4月29日3時30分頃から出力降下を開始し、同日10時頃に発電停止した後、同日11時頃に原子炉を停止する予定である。

今回の燃料取替えは、大飯1号機の燃料漏えいにかかる原因と対策（4月28日公表）を踏まえ実施するものであり、17×17A型高燃焼度燃料について燃料の燃焼度を管理（ウラン燃料集合体：38,000MWd/t未満、ガドリニア入り燃料集合体：36,000MWd/t未満）するために取り替える燃料28体と、これに伴い原子炉内の出力分布を平坦化するために取り替える燃料8体の計36体について取り替えた後、6月上旬頃に原子炉を再起動する予定である。

なお、1次冷却材中の放射能濃度は通常のレベルで推移しており、燃料漏えいは認められていない。

問い合わせ先(担当：内園)  
内線2353・直通0776(20)0314